

## カボチャの花粉

カボチャの花には、お花とめ花があります。お花にはおしべがあり、その表面には、黄色い粉がたくさんついています。この粉を「花粉」といいます。カボチャの花粉を電子顕微鏡で調べてみましょう。

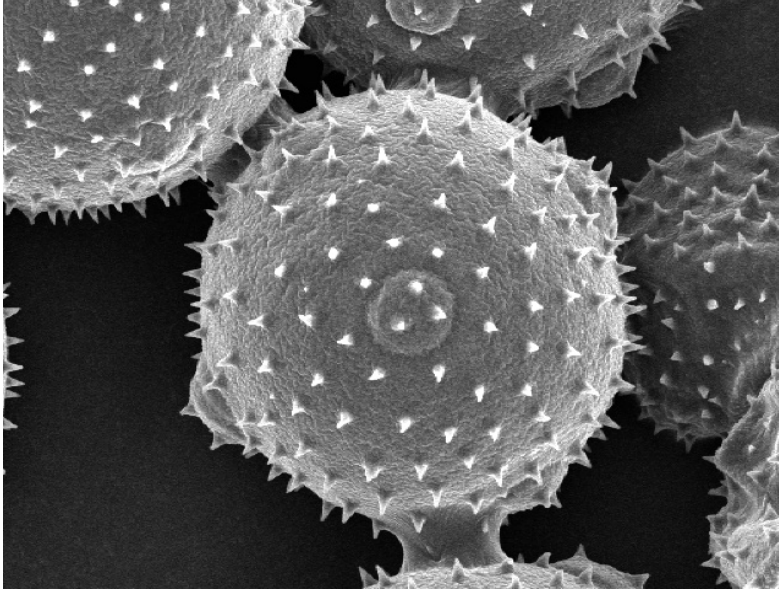


図1 カボチャの花粉  
(約750倍)

左の写真は、カボチャの花粉を電子顕微鏡で拡大して見たものです。表面にとげのようなものがたくさんついているのがわかります。電子顕微鏡では、この写真のように本来の色はわかりません。

カボチャの花粉を、図2のコスモスの花粉と比べてみましょう。だいたい同じ倍率の写真ですから、カボチャの花粉の方がずいぶん大きいことがわかります。植物の種類によって花粉の形や大きさ、表面の様子が決まっているのです。

図2 コスモスの花粉がめしべの柱頭についているところ  
(約750倍)

め花にはめしべがあり、めしべの先の柱頭の表面は、花粉がつきやすいようになっています。

花粉はどんなはたらきをしているのでしょうか。

